

昭和五十八年度第十六回中央教化研究會議身延山教師大会

一、開催趣旨 七百遠忌報恩の成果を継承し、第十二回中央教研七百遠忌教師結集大会及び中央講習会七〇一年

教師大会に引き続き、報恩行実践、身延山教師大会として開催する。

(イ) 報恩の教化活動を受け継ぎ、二十世紀後半から二十一世紀の社会に対応し、立教開宗七五〇年をめざす教化の目標を考える。(目標)

(ロ) 本宗寺院の現状と寺院運営のあり方を中心に、信行の増進、信徒及び社会教化の促進、教化組織の充実にむけての課題と方法について話し合う。(事例交流)

(ハ) 当面する教化活動の実施内容と方策について検討し、めざすべき教化の方向を出し合う。

(方針)

一、期 日 九月二十九日(木)・三十日(金) 一泊二日

一、会 場 山梨県 身延山久遠寺

一、宿 舎 身延山各坊

一、統一テーマ 宗徒総弘通をめざす宗門づくり ―信仰をくらしの中に―

一、分散会テーマ ①信徒教化の推進をめざして

②社会教化の充実をめざして

③法器養成と人材活用をめざして

④教化活動の交流と組織の確立をめざして

一、会議方式 1 記念講演

「日蓮教団史上における二、三の問題」

現代宗教研究所長 宮崎英修

2 基調報告

「地域社会の変動と寺院の現状」

現代宗教研究所主任 久住謙是

3 分散会テーマ発題

4 分散会討議（六分散会に分かれ討議）

《発題》

第一テーマ

信徒教化の推進をめざして

鎌田行学

（愛知県妙恩寺住職）

檀信徒総ぐるみの信仰についての教化の一例を述べて

みる。またそれを宗勢調査に基づいて話をする。護持会

については、まず護持会申込み書に記してもらい、会費納入と同時に経本・袈裟・珠数を渡す。これで手続きは終わる。この場合、かならず檀家・信徒にかぎらず、家族構成・先祖の戒名や俗名などを記載してもらい、これは後日の年回法要、また小・中・高校生を組織に入れて教化していく時の資料となるのである。

妙恩寺の中には、一つの仕組みがある。住職の下には、総代会と教務委員会というのがある。さらに教務委員会の下に僧務・教化伝道・山務・庶務・広報・婦人部・青